

3級：～2027年1月目標

2級：～2027年5月目標

FP 3・2級 受講ガイド

【通学・通信共通】

●TAC WEB SCHOOLマイページ登録のお願い

マイページ登録はTAC WEB SCHOOLの各種機能(質問メール等)をご利用いただくために必須の手続きになります。

お申し込んだコースの学習メディアに関わらずご登録をお願いいたします。
登録方法は別冊「TAC利用ガイド」をご参照ください。

●3級試験および2級試験はCBT試験(任意の日時、テストセンターにてパソコンを使用して受験する試験)にて実施されます。



F P 技能検定3・2級について

 **必ずご確認ください**

F P 技能検定3級および2級はC B T試験にて実施されます。

本試験の概要は、下記にご案内いたしますが、変更となる場合もございますので予めご承知おきください。

なお、T A Cでは受検申込の代行は行っておりません。受検申込の手続は必ず受講生の皆様ご自身で行っていただきますようお願い申し上げます。

◎ 受験申請

受験者専用サイトからインターネットによる申請のみとなります。

◎ 受験申請期間

随時。申請日の3日後から最長で当月を含まない3ヵ月後の末日までの試験日を選択することが可能です。

◎ 試験日

通年実施（休止期間を除く）

法令基準日：2027年5月までの試験日は、2026年4月1日

◎ 合格発表

試験日翌月中旬にW e bサイトで発表。合格者（一部合格含む）には別途合格発表日以降に郵送で通知（なお、点数は試験当日に判明）

◆本試験に関する詳細、お問合せ先はオリエンテーション編をご覧ください。

はじめに

この度は、TAC F P講座をご受講いただきましてまことにありがとうございます。本書は、当講座を受講される方のため教材や各種フォローサービス等に関するご案内をまとめた“講座別受講ガイド”です。別途お渡ししております『TAC利用ガイド』と併せてご覧ください。また、受講終了までご利用いただくものとなりますので、大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

TACは合格のために必要な知識や受験テクニックを受講生の皆様に効率よく提供することにより、最短距離で合格していただくことを第一の目的と考えております。したがって、本書はこれからF P 3級・2級試験合格を目指すにあたり、受講生の皆様にどのように当講座を利用していただくか、その効果的な活用方法を項目ごとに要約しております。

皆様が合格を勝ち取れますよう、TAC F P講座の講師・スタッフ一同、精一杯サポートさせていただきます。

TAC F P講座

F P 講座 3・2級受講ガイド

CONTENTS

通学メディア・通信メディア共通編

- | | |
|--------------------|-----|
| 1. 会員証について | P02 |
| 2. 講義・教材について | P04 |
| 3. Webミニテストについて | P06 |
| 4. 模擬試験について | P07 |
| 5. 質問・相談について | P08 |
| 6. 各種フォロー・サービス対応表 | P09 |
| 7. 各種サービス提供期限一覧 | P11 |
| 8. 教育訓練給付制度について | P13 |
| 9. F P 講座オリジナルサービス | P17 |

マイページ登録について

TAC WEB SCHOOL マイページは、すべての受講生の皆様に登録していただく必要があります。
登録をまだ行われていない場合は、
[<https://portal.tac-school.co.jp>]にアクセスし、
→[ログインページへ]→[マイページ登録]と進み、
画面の案内に従って登録を完了させてください。

教室講座編

- | | |
|-------------------|-----|
| 1. 欠席した場合のフォロー | P19 |
| 2. もう一度講義を受講したい場合 | P20 |

ビデオブース講座編

- | | |
|-------------------|-----|
| 1. もう一度講義を受講したい場合 | P22 |
| 2. スクーリング | P22 |

通信メディア編

- | | |
|-------------|-----|
| 1. 教材発送について | P24 |
| 2. 学習サポート機能 | P25 |
| 3. スクーリング | P26 |

オリエンテーション編

- | | |
|------------------------------|-----|
| 1. F P で学習すること | P28 |
| 2. 3 級・2 級試験概要 | P29 |
| 3. A F P 認定研修（提案書課題）
について | P32 |

巻末

提案書提出用データファイル
NEXT 割引
お問い合わせ先一覧
TAC MAP

以下については別冊「TAC 利用ガイド」
または TAC WEB SCHOOL をご覧ください。

通学メディア・通信メディア共通編

1. TAC 利用上の注意事項
2. 講座開始日と受講期間
3. 会員証について
4. TAC WEB SCHOOL について
5. 施設利用上の注意事項
6. 自習室について
7. 日程変更について
8. 災害時の対応・行動
9. 教材を紛失した場合
10. 住所等を変更される場合 ※
11. 在籍証明書・履修証明書について

教室講座・ビデオブース講座編

1. 教室講座受講上の諸注意
2. 欠席した場合の教材受け取り
3. ビデオブース講座受講上の諸注意
4. ビデオブースの利用方法
5. ビデオブースの予約

通信メディア編

1. 教材発送について
2. WEB での受講方法
3. TAC WEB SCHOOL での受講方法
4. Schoo Swing での受講方法

※住所等を変更される際にご提出いただく「変更届出書」は「TAC 利用ガイド巻末」に収録しています。

日程表はホームページをご覧ください。

https://www.tac-school.co.jp/kouza_fp/fp_nittei.html

通学メディア・通信メディア共通編

1 会員証について

TAC受講生となった方には、「会員証」を発行いたします。会員証はお申込み手続き終了後、各校窓口でお渡しします。郵送申込の場合は、ご自宅に郵送します。

e受付でお申し込みの場合、通学講座の場合は各校窓口でお渡しします。通信講座の場合はe受付のマイページにe会員証を表示します。

※e会員証ではTAC各校舎でのサービスを受けることができません。受付窓口にて会員証の発行を受けてください。

会員証は、皆様がTACの受講生であることを証明する大切なものです。TACご利用の際には、常に携帯していただき、以下の注意事項を遵守してください。

1. 会員証について

- (1) 会員証は本人のみに有効であり、他人へ譲渡または貸与することはできません。
- (2) 会員証を紛失した場合には、受付窓口にて再発行いたします。なお、再発行には、別途手数料がかかります。この場合、再発行日以前の講義は欠席分を含めて、日程表どおりに出席したものと扱います。また、テキスト等の教材もお渡し済みとして処理いたします。
- (3) 会員証を不正に利用させた場合、並びに不正に利用した場合には、当該コース正規受講料の3倍の料金を申し受けます。
- (4) 会員証に表示されている有効期限を過ぎると講義の受講、教材の受取、フォロー制度や自習室の利用は一切できません。

2. 会員証はこのような場面で使用します

- (1) 教室講義への出席時やビデオブースを利用する時には、会員証を提示してください。教室で講義を受ける時は、会員証は必ず机の上に出しておいてください。
講師・スタッフが専用スキャナーによる会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います。（通信メディアの方がスクーリングを利用する際も同様です）。
ビデオブースを利用する場合には、視聴前に受付に会員証を提示し教材をお受け取りください。

※もし会員証を忘れてしまったら…

講義を受ける前に、受付にて「仮受講証」の交付を受けてください。「仮受講証」の交付がない場合には、講義の受講ができません。

- (2) 教材を受け取る際には、会員証を提示してください。テキスト等の使用教材につきましては、受付にてお渡しします。
- (3) クラス振替出席フォロー・クラス重複出席フォローをご利用の際は、会員証をお持ちください。専用スキャナーで会員証記載の二次元バーコードのスキャンを行います。
- (4) 自習室利用の際にも会員証を携帯してください。スタッフが会員証の確認・スキャンを行う場合があります。また、お申込みのコースによっては自習室をご利用でき

ない場合があります。詳しくは、『TAC利用ガイド』の通学メディア・通信メディア共通編「6. 自習室について」をご確認ください。

3. 会員証の有効期限

- (1) 会員証には、有効期限が表示されています。TACサービスのご利用は、すべて有効期限内に完了してください。また、自習室のご利用も有効期限内となります。
- (2) 会員証の有効期限を過ぎた場合には、教材の受け取りなど「該当する目標年度の各種サービス」のご利用は一切できなくなりますのでご注意ください。
- (3) 会員証の有効期限は、TACサービスの利用期限となります。受講契約の解約・返金時に算定の基礎となる受講期間とは異なりますのでご注意ください。

4. 会員証の書替手続き

お申込みの講座・登録コースによっては、会員証の書替手続き（模擬試験の受験票発行など）が必要となる場合があります。詳しくは専用の案内書をご確認いただくか、受付窓口にてご確認ください。

5. 会員証を紛失した場合

- (1) 受付窓口で再発行いたします。その際、下記3点をご用意ください。
 - ①「身分証明書（運転免許証など）」
 - ②「証明写真（3cm×2.4cm。紛失した会員証の枚数+1枚）」
 - ③「印鑑」
- (2) 再発行の際は、再発行手数料〔会員証1枚につき500円（税込）〕がかかります。
- (3) 再発行日以前の講義は欠席分を含めて、登録コースの日程表どおりに出席したものと扱い、教材はお渡し済みとして処理いたします。
- (4) 再発行会員証のお渡しは申請書受取日から原則3日後となります。

2 講義・教材について

1. 講義一覧

級・講義		科目・内容	3・2級本科生AFPプレミアム	3級本科生プレミアム	2級本科生AFPプレミアム	3・2級本科生ライト	3級本科生ライト	2級本科生ライト	2級本科生ミニ	2級直前対策パック	2級Web模試	税理士特例コース
3級	基本講義	第1回 ライフプランニングと資金計画 第2回 リスク管理 第3回 金融資産運用 第4回 タックスプランニング 第5回 不動産 第6回 相続・事業承継	●	●	-	●	●	-	-	-	-	-
	実技対策講義※1	第7回 実技対策：資産設計提案業務 第7回 実技対策：個人資産相談業務	●	●	-	●	●	-	-	-	-	-
	全問解説講義	問題集全問解説講義	●	●	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	3級Webミニテスト	●	●	-	●	●	-	-	-	-	-
	-	CBT模擬試験プログラム※3	●	●	-	●	●	-	-	-	-	-
2級	FP概論 ★	FP概論／ ライフプランニングと資金計画①	●	-	●	●	-	●	-	-	-	●
	基本講義	ライフプランニングと資金計画①										●
		ライフプランニングと資金計画②										
		ライフプランニングと資金計画③										
		タックスプランニング①										
		タックスプランニング②	●	-	●	●	-	●	-	-	-	-
		タックスプランニング③										
		リスク管理①										●
		リスク管理②										
		リスク管理③										
	提案書	提案書作成①	●	-	●	-	-	-	-	-	-	●
	基本講義	金融資産運用①										
		金融資産運用②										
		金融資産運用③										
		不動産①										
	試験対策講義	不動産②	●	-	●	●	-	●	-	-	-	●
		不動産③										
		相続・事業承継①										
		相続・事業承継②										
		相続・事業承継③										
	試験対策講義	試験対策：学科①②③	●	-	●	-	-	-	-	●	-	-
		試験対策：実技（資産設計提案業務）										
		試験対策：実技（個人資産相談業務）※2										
		Web模試※3	●	-	●	-	-	-	-	●	●	-
	-	問題集全問解説講義	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-
	-	2級Webミニテスト	●	-	●	●	-	●	-	-	-	-
	みんな欲し講義	第1回～8回	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
	-	CBT模擬試験プログラム※3	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-

- ※1 教室講座「第7回 実技試験対策」はWeb視聴となります。マイページからご覧ください。
- ★ テキストはF P総論、ライフプランニングと資金計画の2冊を使用します。
- ※2 教室講座の「試験対策：実技(個人資産相談業務)」はビデオブース視聴(無料)となります。
- ※3 CBT模擬試験プログラムおよびWeb模試は、「4 模擬試験について」をご参照ください。

2. コース別配付教材一覧

級・教材		完成 予定	3・2級 本科生 AFP プレミアム	3級 本科生 プレミアム	2級 本科生 AFP プレミアム	3・2級 本科生 ライト	3級 本科生 ライト	2級 本科生 ライト	2級 本科生 ミニ	2級 直前 対策 バック	2級 Web 模試	税理士 特例 コース
3級	みんなが欲しかったF Pの教科書3級 26-27年版	完成済	●	●	-	●	●	-	-	-	-	-
	みんなが欲しかったF Pの問題集3級 26-27年版	完成済	●	●	-	●	●	-	-	-	-	-
2級	F P総論 (第10版)	完成済	●	-	●	●	-	●	-	-	-	●
	2級F P AFP 基本 テキスト 26-27	完成済	ライフプランニングと資金計画 ★		●	●	-	●	-	-	-	●
			タックスプランニング		●	●	-	●	-	-	-	-
			リスク管理		●	●	-	●	-	-	-	●
			金融資産運用		●	●	-	●	-	-	-	●
			提案書の作成		●	-	-	-	-	-	-	●
			不動産		●	●	-	●	-	-	-	●
			相続・事業承継設計		●	●	-	●	-	-	-	●
	2級精選トレーニング(学科編) 26-27年版	9月上旬	●	-	●	●	-	●	-	-	-	●
	2級精選トレーニング(実技編) 26-27年版		●	-	●	●	-	●	-	-	-	●
	2級総まとめテキスト/26-27年版	9月中旬	●	-	●	-	-	-	-	●	-	-
	みんなが欲しかったF Pの教科書2級 26-27年版	完成済	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
	みんなが欲しかったF Pの問題集2級 26-27年版	完成済	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-

使用テキスト

F P 3級基本講義・実技対策：みんなが欲しかったF Pの教科書3級 26-27年版、
みんなが欲しかったF Pの問題集3級 26-27年版

F P 2級基本講義：★初回講義「F P概論」はF P総論、ライフプランニングと資金計画、
2回目以降は科目に応じた基本テキスト(提案書作成も同様)

F P 2級試験対策：2級総まとめテキスト

F P 2級みんな欲し講義：みんなが欲しかったF Pの教科書2級 26-27年版、
みんなが欲しかったF Pの問題集2級 26-27年版

税理士特例コースは日本F P協会が認定する「AFP」資格取得を目的とするものです。講座の受講・修了(提案書の合格)により「AFP」資格が得られます(試験の受検なし)。ただし、「2級F P技能士」を取得するためには、「2級F P技能検定」を受検し、合格する必要があります。

3 Webミニテストについて

対象コース：3・2級本科生AFPプレミアム、3級本科生プレミアム
2級本科生AFPプレミアム、
3・2級本科生ライト、3級本科生ライト、2級本科生ライト

プレミアムコースとライトコースは、演習・答練の一環として、TAC WEB SCHOOL のマイページ上でWebミニテストを実施します。一問一答や択一形式で出題され、最後に採点結果も出るので、スキマ時間を有効に活用していただけます。受講期間中何度でもご利用いただけます。以下をご確認の上取り組んでください。

	【TAC】 Webミニテスト 3級：全6回 2級：全6回 3・2級：全12回	
--	--	--

TAC WEB SCHOOLログイン後、画面上部「学習サポート」の「Webミニテスト」を選択の上、開始してください。操作マニュアルは、「教材」に掲載しています。

	【受講生の皆さん】 Web上で回答	
--	------------------------------------	--

計画的に学習をして取り組みましょう。
※会員証有効期限を過ぎますとログインできなくなります。

	【TAC】 採点結果表示	
--	-------------------------------	--

解答は即時採点されます。

	【受講生の皆さん】 フォロー・アップ	
--	-------------------------------------	--

解説を掲載しています。
復習をしっかりと行ってください。

3・2級本科生AFPプレミアムと2級本科生AFPプレミアムのWeb通信・オンラインライブで教育訓練給付制度をご利用の場合、Webミニテストの解答・採点が修了要件の答案の提出に該当します。

P13の「教育訓練給付制度について」の「3. 受講中」→「答案提出」についてを必ずご確認ください。

4 模擬試験について

【Web模試】

対象コース：3・2級本科生AFPプレミアム（2級部分）、2級本科生AFPプレミアム

1. 受験形式

模擬試験は学習メディアにかかわらず自宅受験（Web模試）となります。

2. 利用方法

受験開始日になりましたら、TAC WEB SCHOOLのマイページに受験URLが掲載されます。そこからご覧ください。マイページの登録は必須となります。

3. 実技試験の受検科目について

模擬試験は日本FP協会の資産設計提案業務と金融財政事情研究会の個人資産相談業務に対応しています。

【CBT模擬試験プログラム】

対象コース：3・2級本科生AFPプレミアム（3級部分）、3級本科生プレミアム
3・2級本科生ライト（3級部分）、3級本科生ライト
2級本科生ミニ

使用テキスト「みんなが欲しかったFPの教科書」の特典です。
ご利用方法は、書籍のはしがき（目次のあと）をご参照ください。

5 質問・相談について

学習上の疑問点や学習の進め方などの相談事項は、わからないままにせず、解決しておきましょう。学習メディア・受講コースによって質問体制は以下のようにご用意しております。

1. 教室講義前後（教室講座のみ）

講義前後に質問・相談を受け付けますので、講師に直接お声掛けください。

2. 質問メール

『学習サポート』内に付属している質問メールをご利用いただけます。

・質問1回につき、質問事項は1項目にてお願いします。

・質問をいただいてから約1週間を目安に回答します。質問の内容や時期により遅れる場合があります。

・質問メールの利用方法は通信メディア編「**2**学習サポート機能」をご参照ください。

・質問メールの締切日は、通学メディア・通信メディア共通編「**7**各種サービス提供期限一覧」をご覧ください。

質問メール利用に際しての上限回数

3・2級 本科生 AFP プレミアム	3・2級 本科生 ライト	3級 本科生 プレミアム	3級 本科生 ライト	2級 本科生 AFP プレミアム	2級 本科生 ライト	2級 本科生 ミニ	税理士 特例 コース	2級 直前対策 パック
20回	10回	10回	5回	10回	5回	5回	10回	5回

3. 質問内容について

ご質問の内容はTACのテキスト・問題集の内容に限らせていただきます。受講講座以外の教材（市販書籍、過去の教材、他の資格専門学校で使用された教材、他社で発行されている問題集やテキスト）についての質問や、当該試験の学習範囲を逸脱している質問、他資格に関する質問にはお答えできません。受付できない質問内容の場合は、回答せずに返却させていただきます。予めご了承ください。

★質問内容は具体的かつ簡潔に記入してください。

- （1）皆様から寄せられる質問メールには、辞書やテキスト等で調べれば分かるものもあります。「わからない」と思ったら、まずできるだけ自分で調べてみましょう。時間はかかるかもしれませんが、そうやって身につけた知識は決して忘れないものです。
- （2）質問メールは上手に使うて実力アップを図るために、どのテキストの何ページに書いている事柄の、何がわからないのかをできるだけ詳しく書いてください。質問が具体的にあればあるほど、講師も確実に回答することができます。

6 各種フォロー・サービス対応表

各種フォロー・サービスの利用は、お申し込みのコース、受講形態に応じて下表の通りです。

フォロー・サービス	通学メディア				通信メディア		
	教室講座		ビデオブース講座		We b通信講座		オンラインライブ 通信講座
	本科生	パック・ 単科	本科生	パック・ 単科	本科生	パック・ 単科	本科生
クラス振替出席フォロー	●		—		—		—
ビデオブース振替フォロー	◎500円/回		—		—		—
校舎間自由視聴制度	—		●		—		—
クラス重複出席フォロー	●	—	—		—		—
ビデオブース重複フォロー	◎500円/回	—	◎500円/回	—	—		—
We b フォロー	●		●		—		—
追っかけフォロー	●		—		—		—
スクーリング	—		●	—	●	—	●
アーカイブフォロー	—		—		—		●
質問メール	●		●		●		●

「●」：標準装備 「◎」：有料サービス 「—」：該当なし

◎有料サービスは消費税10%の税込額になります。

※税理士特例コースは、本科生に準じます。

※スクーリングの利用対象および対象講義は、P22をご参照ください。

クラス振替出席フォロー	ご都合により出席できない場合、同一目標月の教室講座の他のクラスに出席できる制度です（手続き不要）。
ビデオブース 振替フォロー	ご都合により出席できない場合、ビデオブース視聴にて受講できる制度です 〔要予約・1講義500円（税込）〕。
校舎間自由視聴制度	申込登録校舎以外でビデオブース視聴ができる制度です。なお、講座を開講している校舎に限ります。
クラス重複出席フォロー	もう一度受講したい場合、同一目標月の教室講座の他のクラスに出席できる制度です（手続き不要）。なお、講座の指定した講義に限ります。
ビデオブース 重複フォロー	もう一度受講したい場合、ビデオブース視聴にて受講できる制度です 〔要予約・1講義500円（税込）〕。なお、講座の指定した講義に限ります。
Webフォロー	教室講義を収録した動画をWebにて視聴できます。
追っかけフォロー	開講日後に申し込みの場合、ビデオブース視聴にて教室講座の日程に追いつける制度です（要予約・手数料不要）。
スクーリング	TAC各校舎で開講されている対象の教室講座に無料で出席できる制度です。
アーカイブフォロー	オンラインライブ通信で配信された動画を視聴できます。
学習サポート	インターネットを用いたフォロー制度の総称で、「質問メール」「正誤情報」「Webミニテスト」のメニューから構成されています。

7 各種サービス提供期限一覧

各種サービスの提供は特にご案内のない場合、会員証有効期限までとなっています。

※但し、途中解約時の算定における受講期間は教材の初回発送日から3級本科生は2ヵ月間、3・2級本科生と2級本科生、税理士特例コースは6ヵ月間です。

[～2027年1月目標]

3級本科生プレミアム

会員証有効期限 2027/3/31 (会員証記載)

サービス内容	期限	詳細
通学メディアの教材受け渡し請求期限	2027/3/31	受け渡し請求期限付近は、在庫状況により請求当日のお渡しが難しい場合がございます。予めご了承ください。
ビデオブース（フォロー）視聴期限	2027/3/31	ビデオブースのご予約は、 <u>2027/3/30</u> までにお手続きください。
通信メディアの教材問い合わせ期限	2027/3/31	期限後の教材等の送付漏れ、乱丁・落丁等のお問い合わせはお受けいたしかねます。
講義動画・アーカイブフォロー利用期限	2027/3/31	期限後は講義などの視聴が出来なくなります。
学習サポート利用期限	2027/3/31	期限後はご利用出来なくなります（質問メールは下記参照）。
質問メール	2027/3/13 <u>TAC必着</u>	期限後は一切アクセスできなくなりますのでご注意ください。本試験までに質問回答を希望する場合、ご自身の受検日の2週間前までにお送りください。

3級本科生ライト

会員証有効期限：教材の初回発送日から2ヵ月間

サービス内容	期限	詳細
通信メディアの教材問い合わせ期限	教材の初回 発送日から 2ヵ月間	期限後の教材等の送付漏れ、乱丁・落丁等のお問い合わせはお受けいたしかねます。
学習サポート機能利用期限		期限後はご利用できなくなります（質問メールは下記参照）。
質問メール		有効期限内にいただいた質問に対して回答いたします。質問メールは講義動画配信期限を経過すると一切アクセスできなくなりますのでご注意ください。
講義動画配信期限	2027/1/31	コースの特性上、会員証有効期限後も無料受講サポートとして、左記の配信期限までは、TAC WEB SCHOOLにて講義を視聴できます。ただし、質問メールをはじめ、講義視聴以外のサービスはご利用できませんので、予めご了承ください。

[～2027年5月目標]

3・2級本科生(AFPプレミアム・ライト)

2級本科生(AFPプレミアム・ライト・ミニ)

2級直前対策パック

税理士特例コース

会員証有効期限 **2027/7/31** (会員証記載)

サービス内容	期限	詳細
通学メディアの教材受け渡し請求期限	2027/7/31	受け渡し請求期限付近は、在庫状況により請求当日のお渡しが難しい場合がございます。予めご了承ください。
ビデオブース（フォロー）視聴期限	2027/7/31	ビデオブースのご予約は、 <u>2027/7/30</u> までにお手続きください。
通信メディアの教材問い合わせ期限	2027/7/31	期限後の教材等の送付漏れ、乱丁・落丁等のお問い合わせはお受けいたしかねます。
講義動画・アーカイブフォロー利用期限	2027/7/31	期限後は講義などの視聴が出来なくなります。
学習サポート利用期限	2027/7/31	期限後はご利用出来なくなります（質問メールは下記参照）。
質問メール	2027/7/15 <u>TAC必着</u>	期限後は一切アクセスできなくなりますのでご注意ください。本試験までに質問回答を希望する場合、ご自身の受検日の2週間前までにお送りください。

注：オンラインライブ・Web通信で教育訓練給付金制度をご利用の場合、答えは各自の修了日までに全提出課題の8割以上をご提出ください。詳細は、通学メディア・通信メディア共通編「**8**教育訓練給付制度について」のページを参照してください。

8 教育訓練給付制度について

以下、教育訓練給付制度に関する説明は全て「一般教育訓練」の内容です。現在TACで開講している講座は「特定一般教育訓練」・「専門実践教育訓練」ではありません。

一般教育訓練給付制度

受講開始日において支給要件のある方が、厚生労働大臣の指定する講座を受講し修了した場合、支払った入会金・受講料の20%（上限10万円）がハローワークから支給されます。

[2026年4月1日現在]

制度ご利用にあたっては「TAC教育訓練給付制度パンフレット」を必ずご確認ください。

1. 一般教育訓練対象コース

制度の対象コースは「TAC教育訓練給付制度パンフレット」でもご確認ください。

メディア	コース名	受講期間	指定番号
教室・ビデオブース オンラインライブ	FP3・2級本科生AFPプレミアム (旧名称:FP3・2級本科生)	6ヶ月	10200821
	FP2級本科生AFPプレミアム (旧名称:FP2級本科生)	5ヶ月	19100122
		4ヶ月	99208126
Web通信	FP3・2級本科生AFPプレミアム (旧名称:FP3・2級本科生)	6ヶ月	10200924
	FP2級本科生AFPプレミアム (旧名称:FP2級本科生)	4ヶ月	99211722

※開講月や校舎の講義日程はFP講座の日程表をご覧ください。

2. 講座申込時

講座のお申込みから1ヵ月以内に、「TAC/Wセミナー教育訓練給付制度申請申込書」に必要事項をご記入の上、TACへご提出ください。講座のお申込みだけでは、教育訓練給付制度の管理登録は行われません。提出時にはご本人確認書類をご提示いただきます。郵送でご提出いただく場合は、氏名、顔写真、生年月日もしくはご住所の確認ができるカードや書類のコピーを添付してください。

★支給要件の照会

ご自身の教育訓練給付金の支給要件についてはハローワークで照会することができます。TACでは支給要件に関する判断はできません。支給要件の不足により給付金が不支給となった場合、ご本人様責任となる点予めご了承ください。

3. 受講中（TACの修了要件を満たすよう受講してください）

TAC修了要件 修了日までに①②両方の要件を満たす	
教室 ビデオブース	①出席率80%以上 + ②修了試験正答率60%以上
Web通信 オンラインライブ	①答案提出率80%以上 + ②修了試験正答率60%以上

出席確認（教室・ビデオブース）

- ・教室講義・答練に出席の際は、毎回TAC会員証を忘れずに持参し、専用スキャナーによる読取を受けてください。
- ・ビデオブースは予約履歴で出席回数を確認いたします。ビデオブース予約の上、校舎で講義を視聴してください。予約をキャンセルした講義は出席率に加算しません。
- ・修了日までに出席率80%以上となるよう、ご自身で出席状況の確認を行ってください。受講した講義欄に「済」が表示されていない場合は、速やかに受講したTAC受付窓口にお申し出ください。
- ・通学形態のフォロー制度（教室振替制度・ビデオブースフォロー）を利用して受講した場合は出席率に加算されます。同一講義の重複受講は出席率に加算されません。
- ・音声DLフォローやWebフォローなど通信形態での受講や資料の受取りだけの場合は、出席として扱われません。
- ・出席状況の確認方法等につきましては、別冊の[TAC利用ガイド]⇒[通学メディア・通信メディア共通編]⇒「4. TAC WEB SCHOOL について」⇒「講義出席・Web視聴状況の確認」に掲載しております。
- ・修了日までに出席率80%以上並びに修了試験において正答率60%以上を通学生の修了要件として規定しております。

○3・2級本科生AFPプレミアム 全30回（3級6回と2級24回）のうち24回以上出席

○2級本科生AFPプレミアム 全24回のうち20回以上出席

※カリキュラムに含まれる3級本科生第7回はWeb視聴のため出席確認の対象外です。

また、2級模擬試験（Web模試）も出席確認の対象には含まれません。

答案提出（Web通信・オンラインライブ）

- ・修了日までに添削答案（Webミニテスト）提出率80%以上、並びに修了試験において正答率60%以上を通信生の修了要件として規定しております。

○3・2級本科生AFPプレミアム Webミニテスト全12回のうち10回以上提出

○2級本科生AFPプレミアム Webミニテスト全6回のうち5回以上提出

教育訓練給付制度 修了試験

- ・修了試験は下記日程に[TAC WEB SCHOOL]⇒[学習サポート]⇒[Web答練・模試]メニューにて実施いたします。下記期間中にアクセスしていただき、設定されている解答送信期限内に解答送信してください。
- ・修了試験は10問選択式の問題で、全1回の実施となります。

実施 2027年2月26日（金）～3月28日（日）予定

※実施日程は変更となる場合があります。

※正答率60%以上に満たなかった方や期間内に解答できなかった方で追試をご希望の方は、校舎受付窓口もしくは給付金係にお申出ください。修了日まで郵送にて追試を実施します。

※資格試験（本試験）の受験および可否は教育訓練給付制度の支給要件とは関係ありません。

修了日

修了日はTACが修了認定を行う日となります。

教室 ビデオブース オンラインライブ	講義日程最終日の約1週間後が修了日となります。 修了日は修了試験実施の際にご案内いたします。
Web通信	受講開始日から受講期間（P13の1．一般教育訓練対象コースに記載）を経過した日が修了日となります。 各自の修了日は給付制度申請申込登録完了後、教材とは別にTACよりご案内をお送りします。

※Webの配信等TACの各サービスは、修了日に関わらず各講座が定める期日までとなります。

4. 講座修了時

修了要件を満たされた方には、修了日の翌営業日にTACより「教育訓練給付金支給申請書」「教育訓練修了証明書」「領収書」もしくは「クレジット契約証明書」の3点を郵送いたします。修了日から10日以上経過しても書類が届かない場合は至急TACまでご連絡ください。

教育訓練給付制度の関係書類は全て郵送いたします。

住所や書類送付先の変更は、所定の変更届出書にて速やかにお手続きください。

5. 支給申請手続

教育訓練の要件を満たして修了された方が給付金の支給を受けるには、ハローワークへの支給申請手続が必要です。支給申請手続は原則、修了日の翌日から起算して1ヶ月以内です。

※支給申請期限内に手続きできなかった場合は、ハローワークの雇用保険窓口にお問い合わせください。2年間の時効の期間内であれば支給申請手続きが可能です。

6. 教育訓練給付制度に関する詳細

■TACのホームページにある一般教育訓練給付制度のご案内

<https://www.tac-school.co.jp/kyufu/>



■ハローワークインターネットサービス「教育訓練給付」について

https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html



■TAC教育訓練給付制度パンフレット

- ・TAC各校舎にございます。
- ・TACカスタマーセンターでもご請求いただけます。

「TAC教育訓練給付制度」パンフレット請求

TACカスタマーセンター

0120-509-117

平日・土日祝10:00～17:00

(受付時間は変更となる場合がございます情報はTAC HPでご確認ください)

9 F P 講座オリジナルサービス

F P 講座では、様々な制度をご用意しています。ご自身の都合に合わせてご利用ください。なお、各種割引制度は、代理店割引・他の割引制度・各種キャンペーンとの併用はできません。予めご了承ください。

1. ステップアップ割引制度

本科生コースを受講された方が、上位級のコースを受講される場合には、受講料を割引します。

2 級ステップアップ割引：通常受講料の 5 %OFF

1 級・C F P®ステップアップ割引：通常受講料の10%OFF

※対象者や割引対象となるコース、受講料の詳細等は、ホームページ、パンフレット、受講料一覧にてご確認ください。

2. 2 級再受講割引制度

本科生コースで 3・2 級または 2 級を受講された方が、次期以降に再度 2 級を受講される場合には、同一コースの 2 級受講料を割引します。

2 級再受講割引：通常受講料の50%OFF

※対象者や割引対象となるコース、受講料の詳細等は、ホームページ、パンフレット、受講料一覧にてご確認ください。

3. 合格体験記

本科生で見事合格された方の合格体験記を募集しております。喜びの声をホームページ等に掲載させていただきます。

2 級以上の合格体験記にご協力いただいた方には謝礼を進呈いたします。

※謝礼の進呈には各種条件があります。詳細は、ホームページにてご確認ください。

教室講座編

1 欠席した場合のフォロー

講義を欠席した場合は以下の欠席者フォロー制度をフルに活用してください。

欠席した場合のフォロー方法	サービスの名称	サービスの内容
1. 欠席した講義を他のクラスに出席して受講する	クラス振替出席フォロー	締め切りクラスを除き会員証とテキスト等をお持ちいただければ、ご希望の校舎・クラスで講義が受けられます。(お手続きは不要)
2. 欠席した講義をビデオブースで受講する	ビデオブース振替フォロー(有料)	各校舎のビデオルーム内で講義を視聴できます。[要予約、有料¥500(税込)]詳細は各校舎にお問い合わせください。
3. ご自身のパソコンやスマートフォン・タブレット端末でWeb通信を受講する	Webフォロー(標準装備)	Web通信講座の講義をご自身の端末で視聴できます。

1. 他のクラスに出席する…「クラス振替出席フォロー」

登録したクラスの講義を欠席した場合、同一コース、同一内容の講義に限り、別クラスの講義に出席できます。受講地区を問わず可能ですが、登録人数の多いクラスによっては、振替出席をご遠慮いただく場合がございます。予めご了承ください。

2. 欠席した講義をビデオブースで受講する…「ビデオブース振替フォロー」

欠席された講義を各校ビデオルーム内の個別ブースでフォローすることができます。予約した校舎のビデオルームでご視聴ください。受講・予約の方法は、TAC WEB WCHOOLをご参照ください。

◇有料 [1回につき500円(税込)]、完全予約制(当日予約は不可)となります。

◇視聴開始日は、FP講座ホームページの日程表をご覧ください。

https://www.tac-school.co.jp/kouza_fp/fp_nittei.html

3. Webフォロー

欠席された講義をインターネットを利用することによって、フォローすることができます。詳細は、別冊「TAC利用ガイド」をご覧ください。

◇全てのコースに標準装備されています。

◇Webフォローをご利用になる場合は、お申込前に必ず下記 TAC ホームページ内「TAC WEB SCHOOL」にて動作環境および、無料デモ体験版の動作をご確認ください。

<https://portal.tac-school.co.jp/>

◇Webフォローの場合、教育訓練給付制度ご利用の方は、出席扱いになりませんのでご注意ください。

2 もう一度講義を受講したい場合

◆重複受講制度

一回の受講では十分に理解できなかった講義を、もう一度受講したい場合には、同一講義を再受講することができます。お申込みの講座や登録コースによって利用できない場合がございます。予めご了承ください。また利用方法等が各校舎によって異なる場合がございますので、詳細は各校受付に必ずお問い合わせください。

1. **対象コース** : 3・2級本科生AF Pプレミアム、3級本科生プレミアム
2級本科生AF Pプレミアム

2. **対象講義** : コース内の全講義

3. **回数** : 各1回

4. **利用方法** : 2つの方法でご利用できます。

(1) 他のクラスに出席して重複受講する（クラス重複出席フォロー）。

(2) ビデオブース重複フォロー（有料・要予約）で重複受講する。

ビデオブース受講のルールや予約方法などは、TAC WEB WCHOOLをご参照ください。

※Webフォローも併せてご利用ください。

ビデオブース講座編

1 もう一度講義を受講したい場合

◆ビデオブース重複フォロー

一回の受講では十分に理解できなかった講義を、もう一度受講したい場合には、同一講義を再受講することができます。

対象コース・対象講義等は下記をご確認ください。また、利用方法等が校舎によって異なる場合がございます。詳細は各校受付にお問い合わせください。

1. **対象コース** : 3・2級本科生AFPプレミアム、3級本科生プレミアム
2級本科生AFPプレミアム
2. **対象講義** : 各コース内の全講義
3. **回数** : 各1回 [一回あたり500円(税込)の利用料金がかかります。]
4. **利用方法** : ビデオルームでのご利用となります。
※ビデオブースのご利用には、事前に予約が必要です。

◆Webフォロー

インターネットを利用することによって、対象コースの講義を視聴することができます。詳細は、別冊「TAC利用ガイド」をご覧ください。

◇全てのコースに標準装備されています。

◇Webフォローをご利用になる場合は、お申込前に必ず下記 TAC ホームページ内「TAC WEB SCHOOL」にて動作環境および、無料デモ体験版の動作をご確認ください。

<https://portal.tac-school.co.jp/>

◇Webフォローの場合、教育訓練給付制度ご利用の方は、出席扱いになりませんのでご注意ください。

2 スクーリング

対象コースの受講生がカリキュラムに含まれている対象講義をTAC各校舎で開講されている教室講座に無料で出席できる制度です。講師に質問もできますので、ぜひご活用ください。

1. **対象コース** : 3・2級本科生AFPプレミアム、2級本科生AFPプレミアム
2. **対象講義** : 提案書作成
試験対策 : 学科①②③
試験対策 : 実技(資産設計提案業務)
3. **回数** : 目標月内の対象講義が終了するまで出席可。日程表をご覧ください。
4. **利用方法** : 会員証・教材・筆記用具をご持参のうえ、教室へお入りください。

通信メディア編

1 教材発送について

1. 教材等の到着日

日程表記載の教材発送日は、TACから出荷する日付です。受講生の皆さんの自宅への到着は、地域によって異なりますが、目安としてTAC送付日の1日～4日後となります。

お届けの際にご不在の場合は、「不在連絡票」が入れられますので、ご確認の上、教材をお受取りください。

なお、初回発送日以降に申し込まれた方には、経過分をまとめて送付いたします。

2. 教材等の確認

毎回「送付明細表」を添付しておりますので、教材等がお手元に届きましたら、まずは内容のご確認をお願いします。

3. 教材送付に関するお問い合わせ

教材の発送漏れ、教材の乱丁・落丁等がありましたら、発送日より1ヵ月以内に送付明細表に記載されたお問い合わせ先までご連絡ください。なお、会員証記載の有効期限後の請求には応じられません。予めご了承ください。

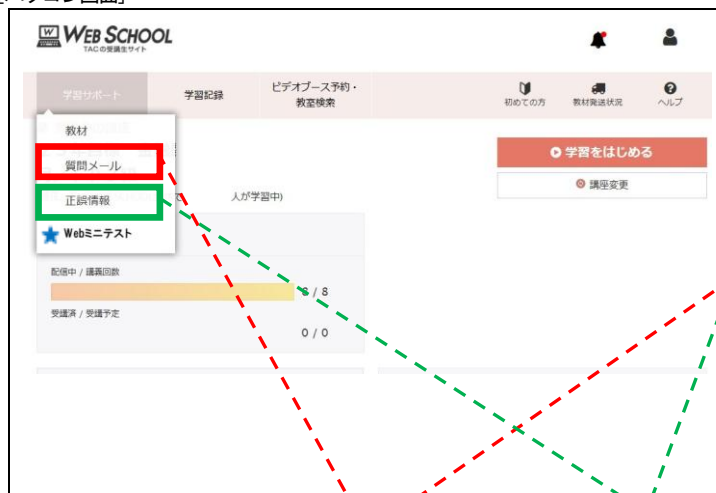
※お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOLをご確認ください。

2 学習サポート機能

TAC WEB SCHOOLでは様々な学習サポート機能で、受講生と講師による双方向のコミュニケーション学習を可能にします。メールで疑問点を質問できる「質問メール」等がご利用いただけます。

※お申込みいただいている講座・コースにより、ご利用いただける機能は異なります。

〔パソコン画面〕



〔スマートフォン画面〕



◆質問メール

学習上の疑問点など質問したい場合、いつでもメールで質問が出来ます。疑問点や不明な点は早めに解決することが大切です。講師またはスタッフがわかりやすく丁寧にお答えします。
※回答もマイページ上でご確認いただけます。

◆正誤情報

試験の法改正やテキスト・問題集の正誤表はここからご確認いただけます。

★Webミニテスト

Webミニテストはここからご利用いただけます。

1. ご利用方法

学習サポート機能はTAC WEB SCHOOLのマイページよりご利用いただけます。マイページ登録をまだ行われていない場合は、[<https://portal.tac-school.co.jp>]にアクセスし、→[ログインページへ]→[マイページ登録]と進み、画面の案内に従って登録を完了させてください。

2. 注意事項

TACでは学習サポート機能の操作方法につきましてはサポートしております（お問い合わせ先はTAC WEB SCHOOLをご確認ください）が、それ以外の内容（パソコンの使い方・故障・プロバイダーへの接続不具合等）につきましてはサポートいたしかねますので、直接メーカーやプロバイダーにお問い合わせください。

3 スクーリング

対象コースの受講生がカリキュラムに含まれている対象講義をTAC各校舎で開講されている教室講座に無料で出席できる制度です。講師に質問もできますので、ぜひご活用ください。

1. **対象コース** : 3・2級本科生AFPプレミアム、2級本科生AFPプレミアム、
税理士特例コース
2. **対象講義** : 提案書の作成
試験対策：学科①②③ ※税理士特例コースは除く
試験対策：実技(資産設計提案業務) ※税理士特例コースは除く
3. **回数** : 目標月内の対象講義が終了するまで出席可。日程表をご覧ください。
4. **利用方法** : 会員証・教材・筆記用具をご持参のうえ、教室へお入りください。

オリエンテーション編

1 F Pで学習すること

1. テキストについて

F Pで学習をする6分野は、それぞれ独立した科目ではなく、相互に関連しています。

3級本科生プレミアム、3級本科生ライト、2級本科生ミニで使用するテキストは、6分野が一冊にまとめられた市販書籍（TAC出版刊）をテキストとして使用します。

2級本科生AF Pプレミアム、2級本科生ライトは、TAC F P講座オリジナルテキストを使用します。

2. F P 6科目の学習内容 科目は、下記のように省略して表記することが多くあります。

①ライフプランニングと資金計画 ⇒ **ライフ**

すべての土台となるのは「ライフプランニング（生涯生活設計）」です。特に多額の資金を必要とする人生の三大資金（教育資金・住宅取得資金・老後生活資金）のプランニングはとて重要です。予期せぬ出来事に対処する社会保険・公的年金・私的年金などの知識を学習します。

②リスク管理 ⇒ **リスク**

生命保険・損害保険・第三分野の保険等のそれぞれのしくみ、商品、税金などの知識を学習します。

③金融資産運用 ⇒ **金融**

経済・金融の基礎知識を習得します。また、さまざまな金融商品がありますが、それぞれの特徴を学習し、効果的な金融商品に投資できる基礎知識を学習します。

④タックスプランニング ⇒ **タックス**

「源泉徴収票」の読み取りができるように、所得税の知識を中心に住民税等の基礎知識を学習します。

⑤不動産 ⇒ **不動産**

不動産に関する法令、税金の基礎知識を学習します。

⑥相続・事業承継 ⇒ **相続**

亡くなった方の財産をどう分けるかという「民法」の知識と、それを取得した方が負担する「相続税」の基礎知識を学習します。また、マイホームの頭金を親からもらう場合などに関係する「贈与税」の知識も学習します。

2 3 級・2 級試験概要

1. 試験団体について

F P 技能検定は日本 F P 協会と金融財政事情研究会の 2 団体が実施しています。
学科試験は共通の問題が出題されますが、実技試験の問題が異なります。
実技試験の受検科目により、受検の申請先（受験者専用サイト）が異なりますのでご注意ください。

2. 受験申請について

受験申請は受講生ご自身で個人申請の区分で行ってください。
TAC では団体申請や受験申請の代行は行っておりません。予めご了承ください。
個人の受験申請は、日本 F P 協会・金融財政事情研究会ともに受験者専用サイトからインターネットによる受検申請となります。

CBTS (CBT-Solutions) 受験者専用総合サイト
CBT 受験の流れ（丸わかりガイド）が閲覧できます

<https://cbt-s.com/examinee/>



日本 F P 協会受験者専用サイト（3 級・2 級）
https://cbt-s.com/examinee/examination/jafp_3



金融財政事情研究会受験者専用サイト（3 級・2 級）
https://cbt-s.com/examinee/examination/kinzai_FP



試験の実施に関するお問い合わせ

【NPO 法人 日本 F P 協会 試験事務課】

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-1-2 8 虎ノ門タワーズオフィス 5 F

TEL : 03-5403-9700 (9:30~17:00 平日のみ)

URL : <https://www.jafp.or.jp/exam/>

【一般社団法人 金融財政事情研究会 検定センター】

〒160-8529 東京都新宿区荒木町 2-3

TEL : 03-3358-0771 (土日祝日および年末年始を除く、平日の 9:00~17:00)

URL : <https://www.kinzai.or.jp/fp>

CBT 試験のお申込みに関するお問い合わせ

【株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズ (CBT-Solutions) 受験サポートセンター】

TEL : 03-5209-0553 (8:30分~17:30分 ※年末年始を除く)

URL : <https://cbt-s.com/examinee/>

CBT方式による試験について

CBT (Computer-Based Testing) とは、パソコンを使用して実施する試験の総称で、パソコンに表示される試験問題にマウスやキーボードを用いて解答します。日本FP協会および金融財政事情研究会が、株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズ (CBT-Solutions) のCBT試験システムを利用して実施するものです。CBT-Solutionsが運営する受験者専用サイトから日本FP協会または金融財政事情研究会のマイページアカウントを登録の上、受験を希望する日時、会場を選択してお申込みください。同サイトでは、CBT体験もできます。

受験者専用サイト：<https://cbt-s.com/examinee/>

(受験者専用サイトより抜粋)

試験名	ファイナンシャル・プランニング技能検定3級	ファイナンシャル・プランニング技能検定2級
	学科試験 (日本FP協会・金融財政事情研究会共通問題) 実技試験 次の科目から1つを選択して受検 [日本FP協会 実施科目] ・資産設計提案業務 [金融財政事情研究会 実施科目] ・個人資産相談業務 ・保険顧客資産相談業務	学科試験 (日本FP協会・金融財政事情研究会共通問題) 実技試験 次の科目から1つを選択して受検 [日本FP協会 実施科目] ・資産設計提案業務 [金融財政事情研究会 実施科目] ・個人資産相談業務・中小事業主資産相談業務 ・生保顧客資産相談業務 ・損保顧客資産相談業務
	※TACの講義は、「資産設計提案業務 (FP協会)」と「個人資産相談業務 (金財)」に対応しています ※2級本科生ミニは除く	
試験実施団体	日本FP協会、金融財政事情研究会	
試験会場	全国のテストセンターの中から、希望するテストセンターで受検	
受検資格	FP業務に従事している者または従事しようとしている者 (FP業務とは、資産の設計・運用・管理およびこれらに係わる相談業務、コンサルティング業務をいいます) (※どなたでも受検可能)	①～④のいずれかに該当する者 ①3級FP技能検定の合格者 ②受検申請時点で、FP業務に関し2年以上の実務経験を有する者 ③受検申請時点で、日本FP協会認定のAFP認定研修を修了している者 (修了証明書の保持者) ④金融渉外技能審査3級 (旧審査試験) の合格者
出題形式	・学科試験 CBT多肢選択式60問90分 ・実技試験 60分 CBT多肢選択式20問 [日本FP協会] CBT事例形式5題 [金融財政事情研究会]	・学科試験 CBT多肢選択式60問120分 ・実技試験 90分 CBT多肢選択式及び記述式40問 [日本FP協会] CBT事例形式5題 [金融財政事情研究会]
試験申請日程	通年受付	
試験実施日程	通年実施 (休止期間を除く) 【休止期間】 ・2026年5月24日 (日) - 2026年5月31日 (日) ・2026年12月28日 (月) - 2027年1月5日 (火) ・2027年3月25日 (木) - 2027年3月31日 (水) ※お申し込みは随時可能です。	
試験免除制度	学科試験の一部合格者は同じ級または下位の級の学科試験を、実技試験の一部合格者は同じ級の実技試験を、合格した試験実施日の翌々年度末まで免除できます※1。	

受検日・会場変更	受検日の3日前(例:受検日が10日の場合は7日)まで変更可能です。 お手続きは受検者ページより行ってください。 なお、当初の申込日から4カ月(120日)間*は何度でも変更可能ですが、当初の申込日から4カ月(120日)間*を超える日は選択できません。 (*) 各月の日数に関わらず、1カ月を30日とみなします。	
再受検規約	学科試験・実技試験ともに何度でも再受検可能です。ただし、再度受検する場合には下記のルールが適用されます。 同じ試験について、重複して予約をすることはできません。また、受検月の翌月中旬の合格発表日翌日以降、かつ再受検申請日の3日後から再受検可能です(欠席した場合や不合格となった場合も同様です)。 例えば、5月1日に3級学科試験を受検し、合格発表日が6月15日の場合、5月1日までは2回目以降の3級学科試験の予約はできません。5月2日から予約は可能になりますが、選択できる試験日は6月16日以降となります。	
申込方法	インターネット受付のみ 申込日より3日目以降の予約が可能	
合格基準	・学科試験 60点満点で36点以上 ・実技試験 100点満点で60点以上 [日本FP協会] ・実技試験 50点満点で30点以上 [金融財政事情研究会]	
会場	全国のテストセンターにて実施	
受検票	受検票の発送はありません。 予約完了時の確認メールにて試験日程・会場のご案内、および注意事項を明記しておりますので、必ずご確認ください。	
法令基準日	受講ガイド表紙の次のページに記載 試験問題は、法令基準日時点ですでに施行(法令の効力発効)されている法令を基準とします。ただし、試験範囲に付随する時事的問題など、またFP業務に関連するものとして知っておくべき知識・情報は出題の可能性がありま。	
合格発表	試験日翌月中旬にWebサイトで実施。合格者(一部合格含む)には別途合格発表日以降に郵送で通知(なお、点数は試験当日に判明します)。	
受検手数料	・学科試験と実技試験 8,000円(非課税) ・学科試験 4,000円(非課税) ・実技試験 4,000円(非課税) ※別途決済手数料あり	・学科試験と実技試験 11,700円(非課税) ・学科試験 5,700円(非課税) ・実技試験 6,000円(非課税) ※別途決済手数料あり
キャンセル	試験予約のキャンセルは、受検者ページより受検日の3日前(例:受検日が10日の場合は7日)まで可能です。受検日の2日前からはキャンセルが一切できません。 なお、入金後のキャンセルはキャンセル手数料が発生します。 ※ご注意ください※ 「学科試験と実技試験」を選択し予約した場合は、学科試験のみまたは実技試験のみのキャンセルはできません。両方の試験をキャンセルとなります。 キャンセル期限は受検日が早い試験(学科試験または実技試験のいずれか)の受検日の3日前までになります。	

※1 一部合格について(学科もしくは実技のみ合格した場合)

FP技能検定は、学科と実技両科目の合格をもってFP技能士と認められる試験ですが、同時に合格しなければならないものではありません。学科または実技のみ合格といった状況になることもあります。その場合「一部合格番号」が発行され、合格した試験実施日の翌々年度末まで免除できます。その期間内に残り片方の科目に合格すれば、FP技能士の資格を(2級でAFP認定研修を修了している方はAFP登録の権利も)得られます。詳細につきましては「試験要綱」をご確認ください。

受験申請時と受験日前に、必ず試験実施団体のホームページや受検者専用サイトにて最新の情報をご確認ください。「試験要綱」も掲載されています。

3 A F P 認定研修（提案書課題）について

対象コース：3・2級本科生A F Pプレミアム・2級本科生A F Pプレミアム

はじめに

（1）A F Pについて

民間資格のA F Pは、日本F P協会へ資格登録手続きをすることでA F P認定者となります。

A F PはA F P認定研修の修了と2級F P技能検定の合格をもって、A F P資格認定を受ける権利を得られます。認定を希望される方は、日本F P協会ホームページの「A F P資格登録手続き」（<https://www.jafp.or.jp/aim/afp/nyukai/>）に従って登録をしてください。

【A F P登録のための条件】

① 2級以上のF P技能検定に合格

2級F P技能士の合格証書が手元にある、技能士番号が発行されている。

② A F P認定研修の修了

提案書に合格してA F P認定研修修了証明書が発行されている。

【A F P登録に伴う費用】

[入会金10,000円（初年度のみ）・年会費12,000円]

A F P登録後は2年毎にライセンス更新が義務付けられており、更新するためには更新期限内に定められたF P継続教育単位（15単位）を取得する必要があります。

【日本F P協会】継続教育と資格更新制度の概要

<https://www.jafp.or.jp/kojin/keizoku/index/>

T A C F P講座では下記講座の対象コースを受講、条件を満たすとF P継続教育単位を取得できます。

- ・C F P®対策講座・相続検定講座・年金検定講座
- ・経営承継アドバイザー講座・DCプランナー講座・F P継続教育研修 等

※受講日において日本F P協会にA F P登録していることが必要です。

（2）A F P登録期限について

A F P登録期限は、指定試験（2級F P技能検定）に合格した試験日または、A F P認定研修修了日のいずれか遅い日の翌々年度末（3月末）までとなっています。この期限を経過するとA F P認定研修の受講履歴が失効しますので、別途日本F P協会へお問合せいただく必要があります。

また、A F P認定者である事はC F P®資格審査試験の受験資格になります。C F P®受験を検討されている方は、C F P®資格審査試験の各回に設定された受験可能なA F P登録期限にご注意ください。必ず日本F P協会のホームページにてご確認ください。

1. 提出する課題（提案書課題）について

- ① AFP認定研修の提案書課題は、テキスト「提案書の作成」に掲載されています。作成の目安は「提案書講義」受講後2週間程度です。知識が薄れないうちに仕上げるようにしましょう。
- ② 用紙のサイズや記入方法（パソコン入力、手書きなど）、提出枚数に関する規定はありませんが、多くの方が、A4サイズ（縦）・パソコン入力・20～30頁程度で作成されています。
- ③ 提案書の課題内容に関するご質問にはお答えできません。提案書の作成テキスト巻末のQ&Aを参考にして課題に取り組んでください。
- ④ 100点満点で60点以上得点することが、AFP認定研修の修了要件となりますが、得点が60点に満たない場合は、TACより修正のお願いを添えて書類(提案書)表記で郵送にて返却いたします。この場合は、不足の資料、資料の読取ミスや計算ミスなど不備がある箇所を修正のうえ再提出していただくことになります。
- ⑤ 提案書に合格された方へ「AFP認定研修 修了証明書」を発行いたします。提案書に合格された旨の通知は、修了証明書の発送をもって代えさせていただきます。

2. 2級FP技能検定の受検資格について

AFP認定研修の受講、提案書の合格をもってAFP認定研修の修了となり2級FP技能検定の受検資格が得られます。この受検資格（2級FP技能検定を受検するためのAFP認定研修の修了日）に有効期限はありません。受検申請する際は修了証明書に記載されている受講者番号（13桁）で受検手続を行ってください。また、「受検申請・成績報告の承諾」をしていただくと、TACに合格報告が行きます。

2級 学科試験と実技試験（資産設計提案業務）

受検資格を1つ以上入力してください。

受検資格①

3級FP技能検定の合格 ☒ 入力する ☐ 入力しない

受検資格②

2年以上のFP実務経験 ☐ 入力する ☐ 入力しない

受検資格③

AFP認定研修修了 ☒ 入力する ☐ 入力しない

AFP認定研修修了時の氏名と受検者ページの氏名は同じですか ☒ はい ☐ いいえ

受講者番号を入力してください（半角数字13桁）

受講者番号を入力し「確認」ボタンを押下してください。
「受検資格確認OK」と表示されない場合はこちらから「AFP認定研修 修了証明書」の画像をアップロードしてください。

08

上記で受検資格としたAFP認定研修の実施機関（スクールや企業等）に、今回の2級FP技能検定の情報（受講者番号・氏名・生年月日・受検日・得点・試験結果）を、日本FP協会が提供することを承諾しますか。
※個人情報保護方針については、日本FP協会ホームページをご確認ください。
日本FP協会の個人情報保護方針

受検申請・成績報告の承諾 ☒ 承諾する ☐ 承諾しない

（CBT申込画面より抜粋）

3. 「提案書の作成」にあたっての注意事項

AFP認定研修の修了は、AFP認定者として一定の知識とスキルを有していることの裏付けとなるものであり、AFP資格の信用と信頼の根幹を成すものです。その修了要件である「提案書の作成」は、当然に本人自身が作成することが前提であり、この提案書が不正な手段により作成されたものであることが発覚した場合には、AFP認定者としての登録が認められない、又は登録が取り消されることがありますので、ご注意ください。

4. 提出方法

- ① 2級の受検資格をお持ちでない方は、必ずご自身の本試験受検予定日の2カ月前までを目安にご提出ください。
- ② 提案書を提出される際は、本書巻末の提案書提出用データファイルを添付してください。データファイルに記載された個人情報に基づきAFP認定研修修了証明書を作成します。
- ③ 提案書の本文は、クリップ留め等の簡易的な装丁で結構です。
- ④ 提案書はTAC各校舎の受付窓口へご提出いただくか、巻末の提案書チェックリストに記載された送付先へ郵送してください。

【本試験出願に合わせた提案書の提出期限】

受検予定日の2カ月前までTAC必着

提案書の講義から2週間を目安にご提出ください。

AFP認定研修修了証明書は採点后、順次発送いたします。

上記の提出期限後も採点はいたしますが、ご提出が遅れた分だけ修了証明書の発送も遅くなります。出願の締切日迄に発送できない可能性も出てきますのでご注意ください。

採点には2週間前後を要します。

【提案書の採点最終締切日】

～2027年5月目標：2027年12月末日まで

■提案書の提出から出願までのスケジュール例

【2027年5月目標】

～3月1日 提案書の提出(TAC必着)

採点后順次 T A Cから提案書の合格者へ、A F P認定研修修了証明書を発送
採点には2週間前後を要します。

4月1日 2級F P技能検定に受検申請

※直前での試験申込みは希望の日時での受験地選択ができなくなる可能性
もありますので、余裕を持った申込みをしてください。

5月10日 2級F P技能検定を受検
学科試験と実技試験を別の日に受検をすることもできます

※提案書を提出されたにも関わらず、1ヵ月以上A F P認定研修修了証明書（または再提出の要請）が到着していない場合は、質問メールにてお問い合わせください。

卷末

～2027年5月目標（3・2級本科生AFPプレミアム・2級本科生AFPプレミアム）

提案書提出用データファイル

下記1. ～7. の項目をご記入のうえ、提案書の表紙に添付してご提出ください。提出されないと、「AFP認定研修修了証明書」が届かない場合がございます。3. ～6. の個人情報は日本FP協会へ提出いたします。5. の住所は「AFP認定研修修了証明書」の宛先になります。

提案書をご提出される前に、裏面の「提案書チェックリスト」を満たしているかご確認ください。

1.	提 出 日	2 0 年 月 日									
2.	会 員 番 号 (1 0 桁)										
3.	フリガナ										
	氏 名										
4.	生 年 月 日	(西暦) 年 月 日									
5.	住 所	〒 —									
6.	電 話 番 号										
上記の氏名・住所・電話番号は、受講開始後に、ご結婚・お引っ越し等で変更がありましたか？ 変更あり（旧姓： ） ・ 変更なし											
7.	受 講 形 態	教室（ 校） ・ ビデオブース（ 校） We b通信 ・ オンラインライブ通信									

----- きりとり -----

〈お客様控え〉※TACの受付窓口にご提出された方にお渡します。

会 員 番 号	氏 名	受取校舎	担当
			/

提案書チェックリスト

【提案書を提出する前に下記の項目を必ず確認してください】

- ・ 提案書テキストの課題に沿って作成されていますか？ ☐

※ 課題に記載されている相談者以外のデータで作成された場合は、採点されません。

例題と混同しないようご注意ください。

※ コピー不可のページや与えられたデータを改ざんした場合も採点されませんので、
ご注意ください。

- ・ 「対策前」と「対策後」のキャッシュフロー表は作成・添付されていますか？ ☐

※ 「対策前」と「対策後」のキャッシュフロー表が添付されていない場合は、採点
されませんのでご注意ください。

- ・ 具体的な対策の提案が「数値」でなされていますか？ ☐

※ 具体的な対策を提案し、対策後のキャッシュフロー表に入力する金額は必ず計算
過程を明記してください。対策後のキャッシュフロー表と提案内容の金額が一致
していないと再提出していただく場合がございます。

- ・ 各種資料が添付されていますか？ ☐

※ 可処分所得の計算等の資料は、必ず添付してください。

【提案書の郵送先】

〒101-8383

東京都千代田区神田三崎町3-2-18 T A C（株） F P 講座 行

※封筒に「提案書在中」と明記してください。

※お預りした個人情報につきましては、AFP認定研修の修了証明書の発送および日本FP協会に対するAFP認定研修の受講登録、TACが提供する受講サービス（会員管理、模擬試験、成績管理等）、顧客管理等に関して利用します。お客様の個人情報を、お客様の同意なしに業務委託先以外の第三者に開示・提供することはございません（法令等により開示を求められた場合を除く）。お客様の個人情報は、TAC株式会社および日本FP協会にて管理させていただきます。

ご存知ですか? TAC会員なら受講料が5%OFF!

NEXT割引 5% OFF

こんな人に
オススメ

- 学習した知識を活かしダブルライセンスを狙いたい
- 上位資格をめざし更なるステップアップをしたい
- 時間の確保ができる今新たな資格に挑戦したい

TACでは、他の資格に意欲的に挑戦する受講生の方々を応援します。
当割引制度は、次の資格講座を受講する際に通常受講料の5%OFFで
お申込みできる制度です。多くのTAC会員が活用している当制度を
ぜひご利用ください。

お申込みは受付窓口または  **受付** で!

TACお申込みサイト

対象者・
対象コース

- 「0」または「9」で始まる10桁の会員番号をお持ちのTAC会員の方で、且つ2014年4月1日以降のTACのお申込履歴がある方が対象となります。
- NEXT割引は各資格講座の各受講メディアの「本科生」「バック生」「コース生」を対象とさせていただきます。NEXT割引の対象になるかどうか不明の場合は各校受付窓口にご問い合わせください。

利用方法

- 各校受付窓口でお申込みされる際は、会員証をご持参ください。
- e受付でお申込みされる際は、登録手続きが必要となります。また、割引適用には条件があります。詳細はe受付サイトの「割引について」をご確認ください。
- 郵送でお申込みされる際は、必ず会員証のコピーを封書に同封してください。

注意事項

- ※ 同一講座内の再受講や継続受講で当割引制度を利用することはできません。またTACで実施する他の割引制度との併用はできません。なお、「早期申込割引」などの、どなたでもご利用いただける期間限定の「キャンペーン受講料」との併用は可能です。
- ※ NEXT割引の対象者および割引率は、予告なく変更となる場合がございます。
- ※ すでにお申込みされた講座・コースについて、遡っての返金等の対応はいたしかねます。

資格の学校 **TAC**

2021年10月現在

❖ お問い合わせ先一覧 ❖

「TAC利用ガイド」「講座別受講ガイド」「TAC WEB SCHOOL」等をご覧の上でご不明な点がございましたら、お手数ですがお問い合わせをお願いいたします。
なお、よくあるお問い合わせをまとめたサイトもご用意していますので、ご参照ください。

お問い合わせ窓口一覧

<https://www.tac-school.co.jp/tolawase>

⇒



よくあるご質問

<https://faq.tac-school.co.jp/support/list/web/index.html>

⇒

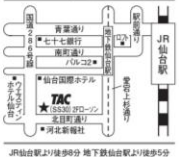
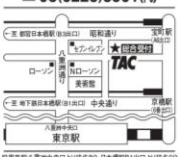
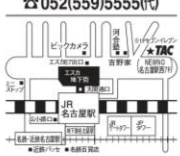


お問い合わせ内容	お問い合わせ先	営業時間※
教材内容、学習内容の質問に関して	通学メディア・通信メディア共通編「 5 質問・相談について」をご参照ください。	
TAC WEB SCHOOLの操作方法に関して	0120-065-355	月～土・祝 10:00～17:00 ※日曜休業
通信講座の教材発送（発送日確認、落丁お取替え）に関して	0120-509-194	
受講申込に関して	各校受付 TAC MAPを参照してください。 ※インターネット申込はこちら https://ec.tac-school.co.jp/	※校舎により営業時間が異なります。 詳細は各校舎のHPをご確認ください。
TAC出版書籍のご購入に関して	TAC出版「オンラインストア」 https://bookstore.tac-school.co.jp/	—

※電話による学習内容の質問は受け付けておりません。

※営業時間は変更となる場合もございますのであらかじめご了承ください。

TAC MAP (2026年6月現在)

札幌校 〒060-0063 札幌市中央区南二条西4丁目8番地2 札幌駅前ビル5F ☎ 011(242)4477(代) 	仙台校 〒980-0027 仙台市青葉区中央4丁目8番1号 仙台駅前ビル5F ☎ 022(266)7222(代) 	水道橋校 〒101-0062 千代田区神田墨田台本17 KAMEMIYAMAビル5F ☎ 03(6387)1111(代) 	新宿校 〒160-0023 新宿区西新宿1-21-1 丸の内ビルディング5F ☎ 03(5322)1040(代) 	早稲田校 〒169-0071 新宿区戸塚1-101-16 早稲田ビル5F ☎ 03(5287)4940(代) 	池袋校 〒171-0022 豊島区池袋1-19-6 池袋駅前ビル5F ☎ 03(5992)2850(代) 
渋谷校 〒150-0031 渋谷区桜丘町31-15 JMビル5F ☎ 03(3462)0901(代) 	八重洲校 〒104-0031 東京都中央区八重洲1-12-2 日本生命八重洲ビル5F ☎ 03(6228)8501(代) 	立川校 〒190-0012 立川市曙町1-14-10 井門立川ビル5F ☎ 042(528)8898(代) 	中大駅前校 〒192-0301 八王子市家中町216-1 ☎ 042(678)7210(代) 	町田校 〒194-0022 町田市森野1-14-17 西武町田ビル5F ☎ 042(721)2202(代) 	横浜校 〒221-0835 横浜市磯区磯町2-23-2 TSUBAYAビルディング14F ☎ 045(451)6420(代) 
日吉校 〒223-0062 横浜市港北区日吉1-9-21 ☎ 045(560)6166(代) 	大宮校 〒330-0854 さいたま市大宮区桜木1-10-17 シンモビル5F ☎ 048(644)0676(代) 	津田沼校 〒275-0016 習志野市津田沼1-23-1 イオンモール津田沼5F ☎ 047(470)1831(代) 	名古屋校 〒453-0014 名古屋市中村区駅1-1-7 NEWHO名古屋駅前5F ☎ 052(559)5555(代) 	京都校 〒600-8421 京都市下京区小橋東入五丁目159-1 梅田センタービル5F ☎ 075(351)1122(代) 	梅田校 〒530-0015 大阪市北区梅田4-4-12 梅田センタービル5F ☎ 06(6371)5781(代) 
なんば校 〒546-0076 大阪市中央区難波1-2-2 太陽生命ビル5F ☎ 06(6211)1422(代) 	神戸校 〒651-0087 神戸市中央区夢野1-1-10 オリックス神戸三宮ビル5F ☎ 078(241)4895(代) 	広島校 〒730-0011 広島市南区基町1-1-10 合人社広島駅前ビル5F ☎ 082(224)3355(代) 	福岡校 〒810-0001 福岡市中央区天神1-15-4 錦ビル5F ☎ 092(724)6161(代) 		

[TAC提携校]

群馬校 中央総合学院内 〒371-0805 群馬県高崎市1-14-1 JR高崎駅前より徒歩2分 ☎ 027(226)1823(代)	富山校 富山経済ビジネス専門学校 〒930-0341 富山県高岡市7-8-7 88タウンセンター内 JR高岡駅前より徒歩5分 ☎ 0766(55)5513(代)	金沢校 エルアンドエルシステムビル 〒921-8044 金沢市東町2-28-1 JR金沢駅前より徒歩5分 ☎ 076(245)7605(代)	岡山校 岡山カレッジサービス 〒730-0023 岡山県岡山市北1-6-18 コストコ5F JR岡山駅前より徒歩5分 ☎ 086(236)0225(代)	福山校 穴吹カレッジ キャリアアップスクール 〒730-0066 岡山県福山市30-1 福山駅前内サテライトセンター5F JR福山駅前より徒歩5分 ☎ 084(99)0250(代)	高松校 岡山カレッジサービス 〒760-0024 香川県高松市丸太町11-4 カニーアール高松駅前ビル5F (高松市役所直向かい) JR高松駅前より徒歩5分・高松駅西口より徒歩6分 ☎ 087(822)3313(代)
徳島校 穴吹カレッジ キャリアアップスクール 〒770-0832 徳島県徳島市3-12-7 マスビル5F JR徳島駅前より徒歩1分 ☎ 088(653)3588(代)	大分校 学校法人 市内学園 〒970-0830 大分県大分市1-6-5 市内エデュケーションビル5F JR大分駅前より徒歩1分 ☎ 097(546)5224(代)	熊本校 税理士法人 東京会計グループ 〒960-0844 熊本県中央区基町2-29 フォレストビル5F 合電水戸駅前より徒歩1分 ☎ 096(323)3622(代)	宮崎校 宮崎ビジネス公務員専門学校内 〒880-0812 宮崎県高千穂町2-27 JR宮崎駅前より徒歩4分 ☎ 0985(22)6881(代)	沖縄校 那覇カレッジ 専門学校宮城日経ビジネス内 〒902-0067 沖縄県那覇市安里1-1-53 ミルレービル5F JR那覇駅前より徒歩5分 ☎ 098(864)2670(代) ●中部校舎 0908(31)1661 〒904-0032 沖縄県那覇市1-25-1	

最新の情報は
HPIにてご確認ください。

TAC 校舎

検索



校舎ごとに営業時間等が異なります。詳しくは各校舎までお問い合わせください。



TAC